

伊賀市文化振興プラン前期実行計画に基づくヒアリング概要

実施日 令和6年1月19日（金）
場 所 ハイトピア伊賀5階学習室 1-A、伊賀市役所本庁 401 会議室
テーマ 「子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充」
対象課 健康推進課、生涯学習課、上野図書館、保育幼稚園課、学校教育課

内 容

1.健康推進課

- ・「健康マイレージ」の事業カードを提出した。景品の中に、コンサートチケットがある。心の健康として、音楽を選択肢に入れることで幅が広がっている。
- ・前回のヒアリングで、「ウェルカムベビー」で教室の前の時間に音楽を流す提案などあったが、コロナ禍ではできなかった。コロナ以降、開催方法を見直したことにより、時間に余裕がなくなった。
- ・「おなかの中からクラシック」は、一人目の子など小さな子どもと一緒にいけないルールでは行きにくい。
- ・母子事業を文化会館で行うことについて、沐浴体験ができない、拘束時間が長くなり、体調が悪くなった場合の対応などが困難。
- ・文化芸術事業の周知について、母子手帳の配布時や健診時にチケット（招待券）、チラシ、パンフレットを渡してはどうか。QR コードもつけるとよい。
《文化振興課、文化都市協会から》
- ・コンサート等に来てもらいやすいように託児を実施するようにした。
- ・「ウェルカムベビー」など会場を提供し周知の協力をしてもらえたら、年1回程度なら、費用はぶんと事業として行える。
- ・子育て支援が充実していることを周知するツールに、ぶんと連携事業も記載するとよい。

2.生涯学習課

- ・各地区公民館がなくなったが、公民館活動は続いている。文化会館などの大きな会場でなくてもよく、各地域を基本にして活動したいという意向もある。各サークル団体会員の高齢化と会員減少が課題。
- ・令和4年度から生涯学習推進指針ができ、生涯学習支援員が地域に配置された。月1回程度研修会を開催。
- ・自治協で行う事業は、生涯学習支援員が地域の課題を把握し、どう解決しようか考えて事業を計画するよう支援し、社会教育指導員が相談・助言をしている。参加者により来てもらえやすい企画を考えている地域もある。

《文化振興課、文化都市協会から》

- 音楽やもの作りで、こんな機会があればという相談があれば、地域のニーズを集めてアウトリーチ事業として取り組むことができる。最終的には、アーティストが独自に動けるような活動につなげていきたい。
- 生涯学習支援員の研修に、ぶんとが講師となり具体的な話をすることもできる。

3.上野図書館

- 上野図書館の運營業務は、伊賀市文化都市協会に委託している。「夜のとしょかん体験」（年1回）は、伊賀市文化都市協会の自主事業で好評を得ている。市ではその他の読み聞かせ等各種イベントも行っている。
- 「郷土の歴史夜咄会」の記録を何らかの形で精度を上げて残すための検討をしたいと考えている。
- 歴史資料の展示増加について、スペースやケースの必要性を考えると難しい。新図書館では企画展示スペースを考えている。
- 「デジタルミュージアム秘蔵の国 伊賀」は、令和3年度から開設した。閲覧数は増加している。文化財資料へのアクセスが特に多い。内容の見直しについては定期的に協議している。市民への周知及び教材としての使い方を学校へ提案している。

《文化振興課、文化都市協会から》

- 「夜のとしょかん体験」は人気があり、2回開催の希望もある。図書館職員を中心にやってきたが、負担分散するなど運営について考えていきたい。

4.保育幼稚園課

- 事業カードの提出をしていないが、園単位で文化芸術の取り組みをしている。
- 段ボールアートは、今年初めてぶんとと全市内各園で取り組んだ。崇広堂で展示し、多くの人を訪れ、施設の周知にもつながった。楽しく取り組み、新たな気付きもあった。
- 文化会館に園児を連れて行くことは難しいが、アウトリーチをして来てもらえるのはありがたい。

《文化振興課、文化都市協会から》

- チャイルドクラシックのチラシの配布などにも協力いただいている。園児を対象にしたアウトリーチも考えていきたい。各園で音楽の取り組みはあるようだが、アート創作などの需要があれば提案したい。園長会議などで説明もできる。モデル園をつくっても良い。
- 園からの相談も受けられる。アウトリーチ事業のプログラム一覧を示すこともできるし、アーティストに繋ぐこともできる。
- 家庭の事情等によらず文化に触れることができるよう、子どもたちに届けられる方法

があるとよい。

5.学校教育課

- アウトリーチは大変ありがたい。本物に出会う貴重な機会、キャリア教育の機会にもなっている。学校から移動するとなると時間的にも移動手段も限定される。
- 学校での活動の全てが文化に関わるもののため、事業カードの提出はしていない。
- アウトリーチ事業のスムーズな打合せができるよう、学校教育課で協力調整もできる。《文化振興課、文化都市協会から》
- チラシの配布に協力いただいている。最終的にホール事業に参加してほしいという思いもあり、アウトリーチも行っている。
- 文化庁の文化施設等活用事業を使いたい。ホールなどへの移送費も出る。